

工事店様用

自家消費向け

ZMPSC エコめがね

自家消費モバイルパック

<パワコン接続タイプ>

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

パワーコンディショナー-SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル 新電元製 パワーコンディショナー用 Ver1.1

SV センサ設定ツール 設定内容	
<PCS メーカー>	新電元
<PCS 型式>	「SOLGRID シリーズ PVS□□□」
対象型式 :	PVS010T200
PVS012T200B	PVS9R9T200
PVS010T200B	PVS9R9T200A
PVS9R9T200B	PVS005T200
PVS9R9S200B	PVS010S200

注意事項

パワーコンディショナについての詳細な手順は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、パワーコンディショナメーカー側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルパック、パワーコンディショナ、その他周辺機器の故障などの異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

1.目的

エコめがね自家消費モバイルパック（以下 自家消費モバイルパック）をご利用いただくにあたって、「パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル」の作成・施工手順を記載しています。

2. システム構成

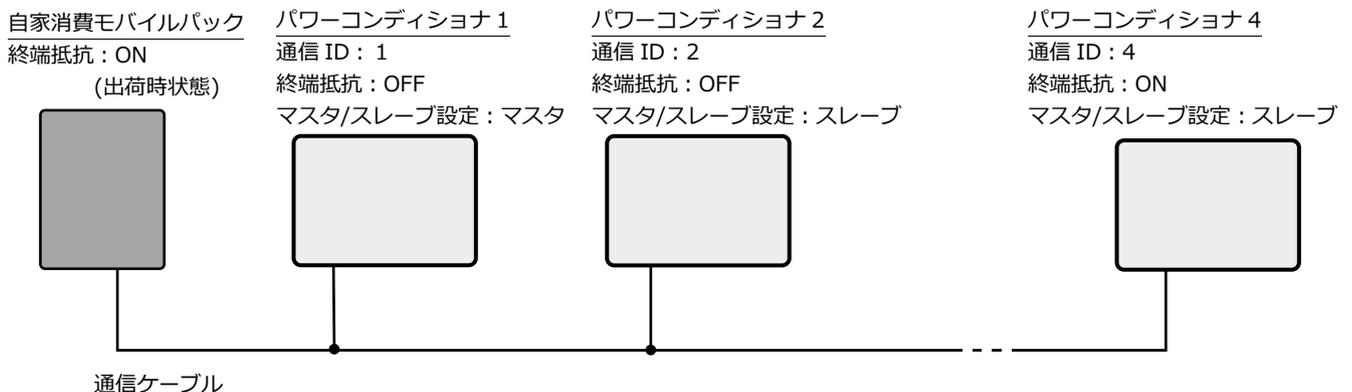
以下に、パワーコンディショナのシステム構成例を記載します。

※型式によって接続可能台数が異なります。詳しくは弊社 HP をご確認ください。

https://www.eco-megane.jp/mc_pcs

<注意> 自家消費モバイルパックと新電元工業製の「SOLGRID MANAGER」等と併設でご利用いただくことはできません。

PVS012T200B 4台接続時



3. パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルの作成

3-1. 準備部材・工具

パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル作成に必要な部材、工具を以下に記載します。

●部材 (パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル 1 本あたり)

部材名	サイズ・規格	数量
丸型圧着端子	R1.25-3(最大圧着端子幅 6.2mm)	4 個
シールド付きツイストペアケーブル	KPEV-SB 0.5mm ² ×2P(市販品)	1 本
絶縁テープ	-	必要な長さ

<参考>パワーコンディショナ間通信ケーブルの部材について

パワーコンディショナ間の通信ケーブルについては、以下に記載します。
パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等もご確認ください。

部材名	サイズ・規格	数量
丸型圧着端子	R1.25-3(最大圧着端子幅 6.2mm)	(PCS 台数×7)個
シールド付きツイストペアケーブル	KPEV-SB 0.5mm ² ×2P(市販品)	(PCS 台数-1)本

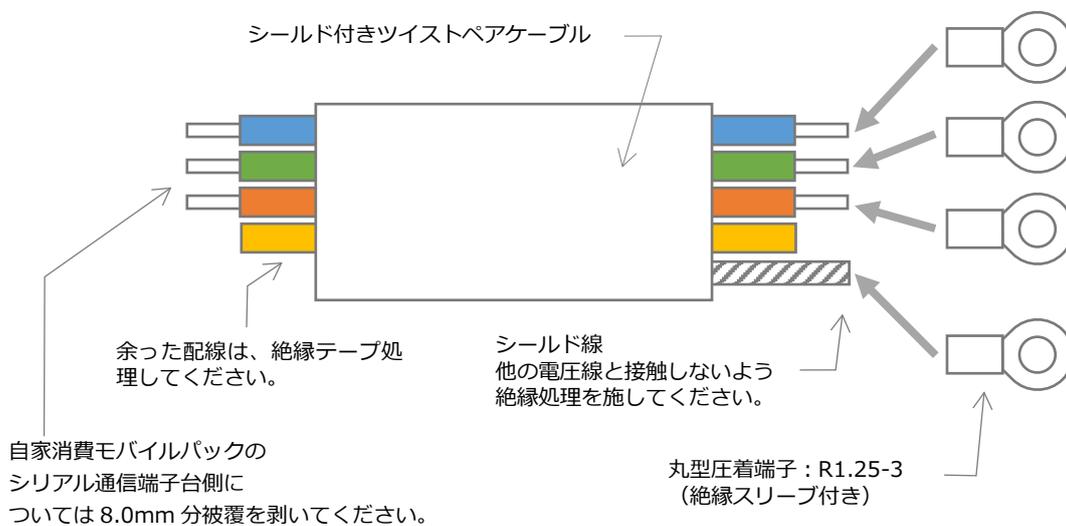
●工具

工具名	サイズ・規格	個数
ニッパー	-	1
ペンチ	-	1
プラスドライバー	-	1
トルクドライバー	-	1
精密ドライバー	マイナス、2.0mm	1
圧着工具	圧着端子サイズに適合するもの	1

3-2. パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブルの加工

● ケーブル加工方法

パワーコンディショナ - SV センサ間の距離に応じた長さのシールド付きツイストペアケーブルを用意し、信号線およびシールド線の端に、丸端子を圧着してください。



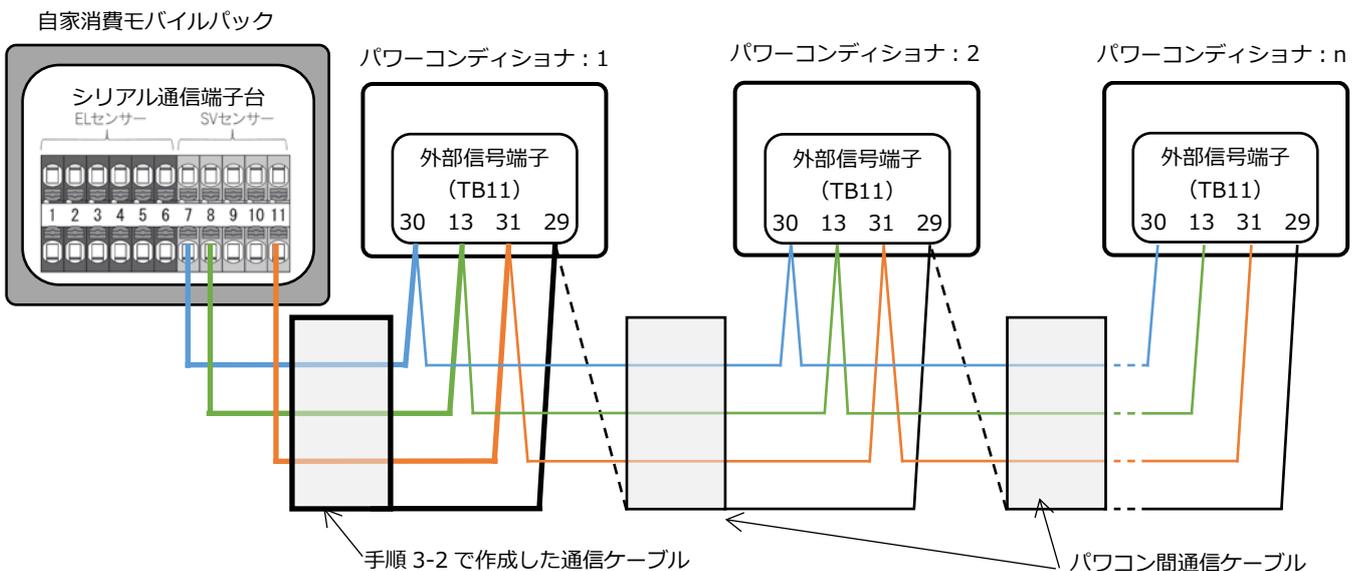
4. 通信ケーブルの取付け方法

＜注意＞ 機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

自家消費モバイルパックのシリアル通信端子台とパワーコンディショナの外部信号端子 (TB11) の間を、手順 3-2 で加工したケーブルで接続してください。自家消費モバイルパックシリアル通信端子台の挿線口付近のツメ(橙色)を精密ドライバーで押しながら、挿線口に通信線を挿入してください。挿入後、精密ドライバーの押さえを開放しますと通信線が固定されます。通信線を軽く引いて、抜けが生じないか確認してください。

また、パワーコンディショナ間の通信ケーブルについては、別途パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等をご確認の上、接続してください。

●ケーブル取付け全体図



※シールド線の点線部を接続することで、ノイズなどの影響を改善できる場合があります
※通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めいたします。

※別途お客様にてご準備

● パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル取付け部分図

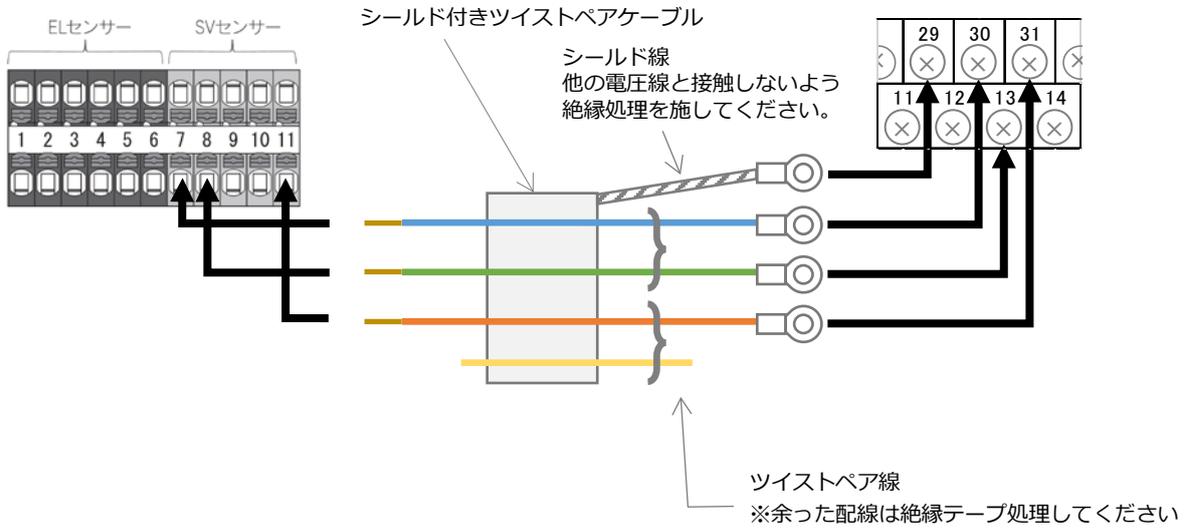
※ケーブル取付け全体図でシールド線の点線部を接続していない場合の図です

自家消費モバイルバックシリアル通信端子台

挿線口付近のツメ(橙色)を精密ドライバーで押しながら、挿線口に通信線を挿入してください。

パワーコンディショナ 外部信号端子(TB11)

締付トルク : 0.5~0.6N・m



● 結線対応表

自家消費モバイルバックシリアル通信端子台		パワーコンディショナ 外部信号端子	
ピン番号	信号名	端子番号	信号名
7	TX+	30	外部通信 A(+)
8	TX-	13	外部通信 B(-)
11	SG	31	外部通信 GND
-	-	29	外部通信 FG

5. その他

5-1. 終端抵抗の設定

接続パターンにより、SVセンサ及び、パワーコンディショナの終端抵抗を設定してください。

<注意> 出荷状態では、SVセンサの終端抵抗はON状態で設定されています。

パターンAでご使用される場合は、SVセンサの終端抵抗の設定は不要です。

【パターン A（推奨）】自家消費モバイルパックが通信経路上の終端に設置されている場合

・自家消費モバイルパック：

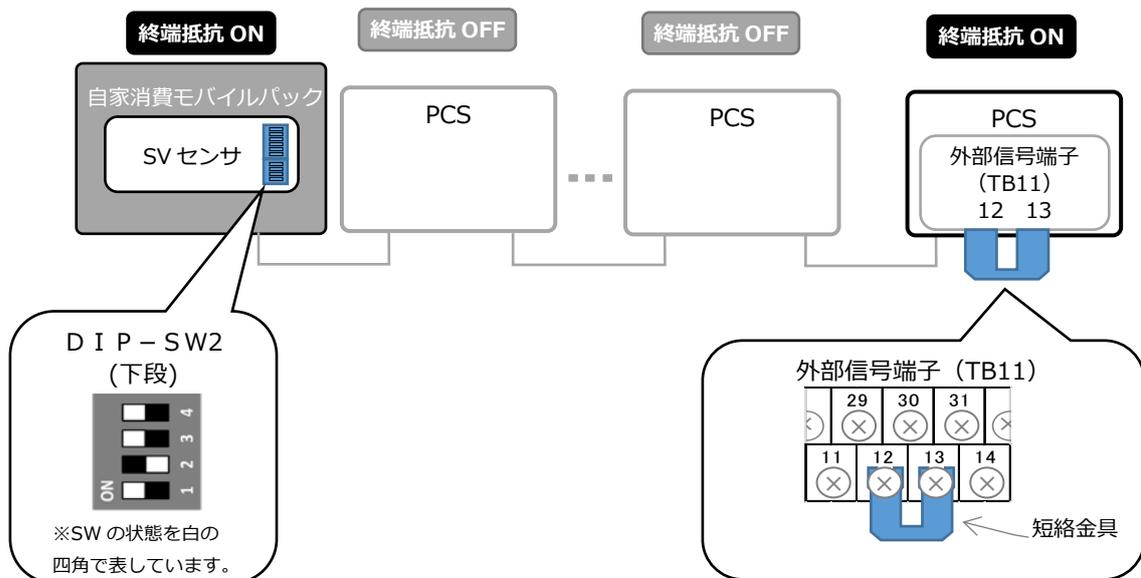
SVセンサの終端抵抗設定を有効（DIP-SW2 No.1 を ON）に設定してください。

・パワーコンディショナ：

終端にあるパワーコンディショナについて、外部信号端子（TB11）の 12・13 間を短絡金具で短絡してください。※短絡することで終端抵抗が挿入されます。

また、通信経路の間にある他のパワーコンディショナについては、外部信号端子（TB11）12・13 間の短絡金具を外してください。（外した短絡金具は、パワーコンディショナの所定の場所に取り付けて保管してください。）

●終端抵抗の設定（パターンAの場合）



【パターンB】 自家消費モバイルパックが通信経路上の終端に設置されていない場合

・自家消費モバイルパック：

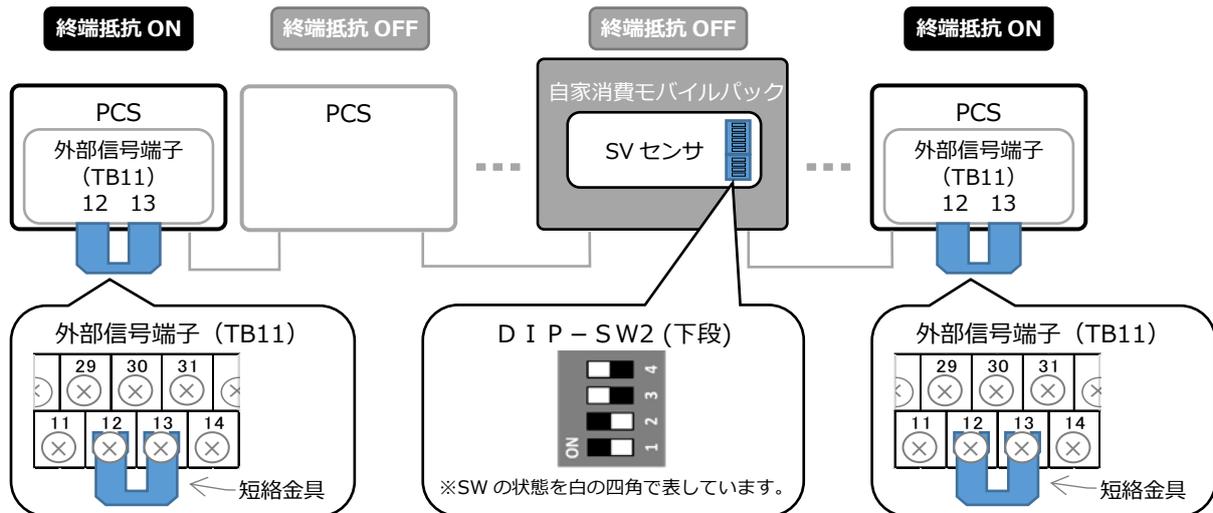
SV センサの終端抵抗設定を無効（DIP-SW2 No.1 を OFF）に設定してください。

・パワーコンディショナ：

終端にある 2 台のパワーコンディショナについて、外部信号端子（TB11）の 12・13 間を短絡金具で短絡してください。※短絡することで終端抵抗が挿入されます。

また、通信経路の間にあるパワーコンディショナについては、外部信号端子（TB11）12・13 間の短絡金具を外してください。（外した短絡金具は、パワーコンディショナの所定の場所に取り付けてください。）

● 終端抵抗の設定（パターン B の場合）



5-2. 通信ID(局番)の設定

パワーコンディショナの取扱説明書、施工・保守マニュアル等に従い、パワーコンディショナの通信ID(局番)を設定してください。

※通信ID(局番)は1～9の範囲で設定してください。

5-3. マスタースレーブ設定

パワーコンディショナの型式が「PVS□□□T200」、「PVS□□□S200」の場合、通信ID(局番)の設定と共に、マスター/スレーブの設定が必要になります。パワーコンディショナの取扱説明書、施工・保守マニュアル等に従って設定してください。

MEMO

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

050-3185-6842

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年未年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。